

日時 平成25年11月28日（木）午後3時から午後5時

場所 和泉市コミュニティセンター1階大集会室

1. 和泉市ごみ減量等推進審議会会長選任

和田会長（関西大学 名誉教授）

2. 和泉市ごみ減量等推進審議会副会長選任

山本副会長（和泉商工会議所 副会頭）

3. 諮問 「一般廃棄物の減量施策について」 辻和泉市長

諮問事項 和泉市における日常（可燃）ごみの有料化について

諮問理由 ・ごみ減量推進

・焼却ごみの減少による泉北クリーンセンターの経費削減

・排出量に応じた費用負担の公平性の確保

・ごみ減量化とリサイクル推進による市民意識の向上

4. 議事 和泉市における日常（可燃）ごみの有料化について

事務局説明

①泉北環境整備施設組合における和泉市のごみの現状と分析

②これまでの取り組み

③日常（可燃）ごみの有料化の目的（案）

④目標（案）

⑤スケジュール（案）

⑥近隣自治体の状況

○審議会の意見

- ・泉大津市、高石市の有料化とごみ排出の公平性からも有料化は仕方がない。
- ・有料化もやむを得ないがその理由の説明とディスプレイの設置補助を検討
- ・以前、粗大ごみの有料化で市民意識が高まり、ごみ量が減ったことから意識改革するため、やむを得ない。

- ・有料化で生ごみの水きりが少なくなるのでは、大阪府の大多数で行われていて、和泉市も避けて通れない。
- ・泉北環境構成市3市のうち2市が有料化によるごみ減量を実施している状況で一日も早く市民の意識を変える意味では有料化はやむを得ない。
- ・市民意識の高揚を図る一段階として、有料は賛成
- ・ごみ処分にお金が必要だと理解している。また、弱者対策とごみ減量PRを強化することにより苦情はでないと考えている。
- ・ごみ費用を軽減するため、有料化にしっかり貢献して行きたい。
- ・有料化によってごみ減量され、ごみ処理の税金が軽減する。軽減した税金を違う形で市民に有効に還元することだと考えている。また、他の自治体のごみ減量の知恵を市民にPRすることが必要。
- ・事業系ごみ有料化でごみ減量の大きな効果があった。高度な議論で方向性を導き出したい。
- ・低所得者、生活弱者に対する軽減措置を検討するなら賛成。
- ・有料化には反対しないが、もっと時間をかけて高度な意識を持った市民を育てる環境づくりが必要。
- ・有料化の前にごみ減量の具体的なPRが必要
- ・ごみ減量の啓発を推進していけば、減量化が進む。
- ・ごみの減量が進み、市民意識が向上されている。

#### 5. 報告 和泉市再資源化事業推進奨励基金の取り崩しについて

平成22年から4年間、基金から1,000万円を充当し、住宅用太陽光発電システムの設置にかかる補助を行っていたが、まだまだ多くの方の応募があるため、同基金の取り崩しを3年間で3,000万円を充当して、補助事業を進めたい。

##### ○審議会の意見

市が行政として、補助金を捻出すべきで、基金から1,000万円を出すのであれば市も1,000万円を出すという形をとるのが望ましい。

また、もっとリサイクル啓発等に基金を使うことを要望する。

例えば、駅前にはがき回収ボックスを置いて、市が回収する。